



この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

## 申 立 て の 趣 旨

当事者間の長男甲野隼（令和〇年〇月〇日生）の親権者を申立人に指定するとの調停を求めます。

## 申 立 て の 理 由

- 1 申立人と相手方は、平成〇年〇月〇日婚姻し、長男をもうけましたが、夫婦関係が悪化し、令和〇年〇月〇日、申立人が長男を伴い別居しました。
- 2 現在、相手方と協議離婚の進捗を進めており、長男の親権に関する問題以外は相手方と話し合いができていますので、近日中には、離婚届を提出する予定です。
- 3 申立人は、長男と引き続き同居し、単独の親権者として長男を養育することを希望しています。他方で、相手方は、長男を引き取り、かつ、申立人と共同親権者として、長男の養育に関わりたいと主張しています。話し合いを重ねましたが、長男の親権や住まいについては解決することができないと考え、本件申立てをいたしました。
- 4 申立人が長男と同居し養育することが望ましい理由は………です。  
また、申立人が単独で親権者となることが望ましい理由は………です。

協議離婚の見通しについて記載してください。

離婚後の親権（父母いずれかの単独親権か、父母の共同親権か）や、子と同居する親（父母いずれかと同居するか、それ以外の考えがあるか等）についての主張や考えを記載してください（相手方の主張等も把握している範囲で記載してください）。

親権や子と同居する親についての主張や考えの根拠としている具体的事情があれば、記載してください（他に提出する事情説明書等の書面があれば、その書面と重複する記載は必要ありません）。